



令和7年度 優秀映画鑑賞推進事業

# 名画鑑賞会

日本の映画シーンを華やかに彩った名優「石原裕次郎」と「高倉 健」の代表作を上映いたします。



## 嵐を呼ぶ男（日活）

上映時間 11:00～12:40 〈1953年公開作品 カラー 100分〉

原作・脚本・監督 井上梅次

【出演】石原裕次郎、北原三枝、金子信雄 ほか

本作はその裕次郎のイメージを決定的にした記念碑的な作品である。1958年の正月映画として公開され、総配収3億5,600万円（当時の平均入場料62円）を超える大ヒットとなり、1954年に製作を再開した日活にとっても、その後を決定的な作品である。裕次郎が指を負傷してドラムを叩くことができず、とっさにマイクを握って歌い始めるというツボを押さえた演出で観客を楽しませ、この一代の大スターの誕生を導き出した。



## 網走番外地（東映）

上映時間 14:00～15:31 〈1965年公開作品 白黒 91分〉

脚色・監督 石井輝男

【出演】高倉健、丹波哲郎、嵐寛寿郎 ほか

本作は1965年から1972年の間に計18作が製作された「網走番外地」シリーズの第1作。極寒の網走刑務所に収監中の橘（高倉）は、妹や病身の母に再会することを夢見ながらまじめに服役しているが、悪辣な囚人仲間にそそのかされて脱獄計画に巻き込まれてしまう。橘の更生を手助けする保護司役の丹波哲郎、「アラカン」の愛称で人気を博した時代劇の大御所・嵐寛寿郎、そして個性的な演技で脇を支える田中邦衛など、魅力的な俳優たちの競演も見所。

2026年 **1月20日**（火） 午前11時00分上映開始（開場は上映の30分前）

摂津市民文化ホール（くすのきホール）【チケット発売日】12月25日（木）午前10時～

入場料 500円＜前売・当日とも＞ **1作品1上映の入場料となります。**※全席自由、未就学児入場不可

【プレイガイド】・摂津市民文化ホール事務所（いきいきプラザ内）072-635-1404

◇主催：（一財）摂津市施設管理公社/国立映画アーカイブ

お申込はこちらから

◇特別協力：文化庁/(一社)日本映画製作者連盟/全国興行生活衛生同業組合連合会/  
松竹(株)/東宝(株)/東映(株)/(株)KADOKAWA

◇協力：(株)オーエムシー

